

2016年度の政務活動費使用状況について

2017年5月18日 日本共産党品川区議団 飯沼雅子

1、政務活動費の概要

日本共産党品川区議団は 2016 年度の政務活動費について総額 1596 万の支給を受け、1555 万 8977 円を使用し残高 40 万 1023 円を返却しました。支出の概要は以下の通りです。

①調査研究費	88 万 6623 円 (5.7%)	②研修費	52 万 1849 円 (3.4%)
③会議費	2 万 2698 円 (0.1%)	④資料費	106 万 2974 円 (6.8%)
⑤広報・活動費	681 万 8695 円 (43.8%)	⑥事務費	193 万 7844 円 (12.5%)
⑦人件費	430 万 8294 円 (27.7%)		

2、政務活動費の各支出別における主な内容

①調査研究費は、羽田新ルートやコミュニティーバス、29 号線道路などについて、区民要望を把握するために実施した住民アンケートの印刷代及び返信郵便の受取人払い料金など。また、逗子市議会の ICT 化について現状を調査するための視察費。

②研修費は、区政分析や議会質問及び区政報告の作成などのために実施した区議団合宿や、高齢者・介護・道路などの各種集会やセミナー等への参加費。

③会議費は住民懇談会の会場費及び手話通訳、要約筆記に要した経費。

④資料費は区議控室のコピーカウンター料や各種新聞・書籍などの支払い。

⑤広報活動費は、議会活動を区民に報告し、区民意見の把握のために発行した日本共産党品川区議会報告や壁新聞、各区議の区政報告、議会傍聴の案内における印刷代や郵送経費等。

⑥事務費は、区議控室のコピー機などのリース料、区議団ホームページの管理料、電話及びインターネットの通信料、その他、事務用品購入のための経費。

⑦人件費は、共産党品川区議団の政務活動における補助として区議控室に置いた、事務局員 1 名の給与及び社会保険料事業主負担分。

3、政務活動費の主な特徴

2016 年度は、前回の区議選で 7 名に議席を増やした力で、住民から寄せられた切実な要望を区議会で取り上げ、再開発や特定整備路線など大型開発優先から、認可保育園、特養ホーム、障害者施設など福祉・暮らし優先への区政転換に取り組みました。

住民犠牲の羽田新ルート問題では、住民アンケートを区内全域で実施し、区民要望を把握し、計画撤回を求める住民運動との連携や他会派との共同を広げていきました。

政務活動費の使用にあたっては、運用指針を厳格に順守すると共に、常に住民目線からのチェックや経費節約に努めながら、広報・活動費及び事務局の人件費、区議控室の事務費などの政務活動にあて、多様な住民要望の把握や分析、区民への報告等を行い、議会活動に活かしていきました。今後とも、住民自治の発揮で、平和と暮らしを壊す安倍暴走政

治から、区民の福祉・暮らし、立憲主義を守り抜く地方自治体の発展に力を注ぎます。